

令和8年10月7日
北九州市都市ブランド創造局
J R西日本不動産開発株式会社
株式会社 J R小倉シティ
株式会社キョードー西日本
小倉城竹あかり実行委員会

報道機関各位

官民学で Vaundy ファンを **超** もてなし！ おしもてなし第5弾「Vaundy×北九州放浪（HORO）旅」

令和8年4月1日にスタートした「〇〇推し課」による取り組み、おしもてなし第5弾として、令和8年10月24日（土）・25日（日）に、北九州メッセで開催される『Vaundy ASIA ARENA TOUR 2026 " HORO "』に合わせ、官民学が一体となった歓迎プロジェクト「**Vaundy×北九州放浪（HORO）旅**」を、下記のとおり実施します。

本事業は、全国から訪れるファンの「推しへの圧倒的な熱量」を小倉のまちへ波及させ、市内周遊や滞在時間の延長、地域経済の活性化につなげるものです。駅や商業施設での歓迎企画に加え、夜間には地元学生が創る Vaundy 特別竹灯籠を展開し、まちのにぎわいを創出します。

民間・地域・行政が一体となった、「推し活の熱狂」が「まちのにぎわい」へと変わる新たな都市戦略をぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

1 実施内容

（1）【民間企画】小倉城竹あかり「Vaundy 特別竹灯籠」設置

主催：小倉城竹あかり実行委員会、株式会社キョードー西日本

日時：10/23（金）～11/3（火・祝）各 18：00～21：00

※10/24（土）のみ、22：00 まで点灯を延長

場所：小倉城歴史の道付近

料金：観覧料 1,000 円（小学生以下無料）

※上記料金で小倉城及び小倉城庭園にもご入城いただけます。

内容：市内の高校生や大学生が約1か月かけて制作した

「Vaundy 特別竹灯籠」を展示します。



Vaundy 特別竹灯籠イメージ

地元学生が手がけた
Vaundy 竹あかり

小倉城竹あかりについて

「小倉城竹あかり」は、放置竹林の活用や地域のにぎわい創出、観光振興を目的として、市民団体が主催するナイトイベントです。

地元の職人やボランティアの皆さんが、竹にさまざまな形や模様を彫り込んだ竹灯籠を制作し、小倉城周辺に約3万個を設置。夜には竹灯籠が一斉に灯され、幻想的な光に包まれた小倉城の夜を楽しむことができます。現在では、1日約1万人が訪れる、北九州市を代表する秋のイベントの一つとなっています。

＼日本夜景遺産に認定されています！／



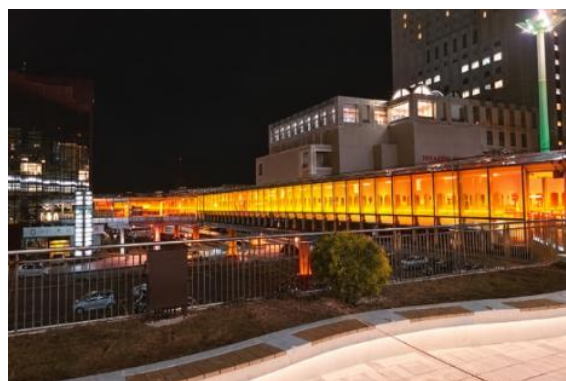
詳細はこちらから

(2)【市&民間企画】小倉駅周辺ウェルカムジャック

主催：JR 西日本不動産開発株式会社、株式会社 JR 小倉シティ、北九州市

日時：10/23（金）～10/26（月）

場所：J R小倉駅構内各所



▲小倉駅周辺ウェルカムジャックイメージ

(3) 【民間企画】マストバイキャンペーン

主催：JR 西日本不動産開発株式会社(ビエラ小倉)
株式会社 JR 小倉シティ(アミュプラザ小倉)

内容：ビエラ小倉、アミュプラザ小倉の対象店で
税込 2,000 円以上購入いただいた方に、
「Vaundy」限定キャンペーンバッグを
プレゼント（数量限定）。

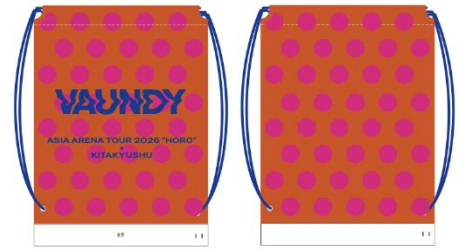
日時・場所：

【アミュプラザ小倉】

10/24（土）・25（日）11:00～18:00
ポップアップ北九州（JR 小倉駅小倉城口 3 階）

【ビエラ小倉】

10/24（土）・25（日）11:00～18:00
KOKURA DANCE STATION（JR 小倉駅新幹線口 1 階）



▲キャンペーンバッグイメージ

(4) 【民間企画】小倉駅ストリートピアノ「Vaundy 楽曲ファンセッション」

主催：小倉駅を中心としたにぎわい創出事業実行委員会
(株式会社 JR 小倉シティ)

日時：10/24（土）・25（日）

場所：JR 小倉駅 3 階コンコース

内容：JR 小倉駅のストリートピアノを Vaundy コラボ
装飾。特別な空間で Vaundy 楽曲を演奏しよう

2 取材について

本企画に関する取材につきましては、実施期間中はいつでも対応可能です。

取材いただける場合は、当日の取材対応を円滑に進めるため、下記の各お問い合わせ先へ **10 月 23 日（金）正午までに電話連絡**をお願いします。

【お問い合わせ先】

- ① 小倉城竹あかり「Vaundy 特別竹灯籠」設置に関すること
小倉城竹あかり実行委員会 電話：070-8376-7103 担当：伊崎
- ② 小倉駅ウェルカムジャックに関すること
北九州市 都市ブランド創造局 ○○推し課（おしか）
電話：093-582-3690 担当：（課長）立川、（係長）宮本
- ③ アミュプラザ小倉マストバイキャンペーン、小倉駅ストリートピアノに関すること
(株) JR 小倉シティ 電話：093-512-1251 担当：大田、渡邊
- ④ ビエラ小倉マストバイキャンペーンに関すること
JR 西日本不動産開発(株) 経営戦略本部 電話：06-7167-5622 広報担当

Vaundy（バウンディ） プロフィール

Vaundy（バウンディ）。26 歳。

作詞、作曲、アレンジを全て自分でこなし、デザインや映像のディレクション、セルフプロデュースも手掛けるマルチアーティスト。2019 年春頃から YouTube に楽曲を投稿開始。

「東京フラッシュ」「不可幸力」など、耳に残るメロディーと幅広いジャンルの楽曲で、瞬く間に SNS で話題となる。デビュー以降、サブスク令和時代の象徴的な存在として注目を集めており、現在までに「怪獣の花唄」「踊り子」を含む 18 曲が 1 億回再生を突破。日本ソロアーティスト 1 位の記録を更新し続けている。

2026 年にはサブスクリプション・YouTube のトータル再生数が 100 億回を突破。リリース楽曲は長期にわたりチャートインし、CM、ドラマ、映画、アニメなど各方面のタイアップに起用されている。

活動の幅は多岐にわたり、「逆光」(Ado)、「透明になりたい」(平野紫耀/Number_i)、「おもかげ」(milet×Aimer×幾田りら)などの楽曲提供・プロデュースで手腕を余すことなく発揮。菅田将暉「惑う糸」や自身の作品「タイムパラドックス」「風神」「僕にはどうしてわかるんだろう」等では自らミュージックビデオの監督も務め、マルチな才能を発揮している。

2022 年 12 月 31 日、第 73 回 NHK 紅白歌合戦に初出場。「怪獣の花唄」「おもかげ (produced by Vaundy)」(milet×Aimer×幾田りら×Vaundy)、2 曲をライブにて披露。再度首位を取得し、2 年連続カラオケ年間チャート 1 位取得、サブスク 9 億回再生達成と、日本のヒットソングとして幅広い世代に愛される楽曲となった。2023 年 11 月 15 日には、前作「strobo」より約 3 年半ぶりとなる全 35 曲入り CD2 枚組の大作 2nd アルバム「replica」をリリース。「踊り子」「恋風邪にのせて」「花占い」「CHAINSAW BLOOD」「そんな bitter な話」など多くのストリーミングヒット曲と新曲で構成。チャートアクション、パッケージ、屋外広告等を含め、多角的な表現が大きな話題を呼んだ。

2024 年には、『映画ドラえもん のび太の地球交響楽』主題歌「タイムパラドックス」が自身最速で 1 億回再生突破。8 月公開『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト』のダブル主題歌として書き下ろした「ホームクルス」「Gift」、TBS 系ドラマ『ライオンの隠れ家』主題歌「風神」も各映画、ドラマのヒットと共に、さらなる広い世代に認知された楽曲となった。

同年 12 月 31 日には、第 75 回 NHK 紅白歌合戦に 2 回目の出場。自身のヒットソング「踊り子」を披露。Vaundy 初のドキュメンタリーとなった NHK 総合「Venue101 Presents Documentary on Vaundy モノづくりと生きてゆく」の放送は、Vaundy の生き方や音楽・モノづくりと真摯に向き合う姿勢に反響が集まる。

2025 年は、Vaundy が毎月楽曲リリースを公言。TV アニメ『SAKAMOTO DAYS』「走れ SAKAMOTO」、テレビ朝日系ドラマ『PJ〜航空救難団〜』主題歌「僕にはどうしてわかるんだろう」、是枝裕和監督作品『ラストシーン』主題歌「まじで、サヨナラべいべい」等、次々と楽曲を発信している。

開催したライブは全て即日完売。自身初となる日本武道館 2days 公演は 26,000 人を動員、2023 年秋開催初の全国アリーナツアー(6 都市 12 公演)は 150,000 人を動員。2024 年秋にはアルバム「replica」を引っさげた全国 10 都市 20 公演アリーナツアーは約 250,000 人を動員。2025 年 7 月からは公式サイト会員限定全国 13 都市 28 公演ホールツアーを開催。2026 年 2 月からは、男性ソロアーティスト史上最年少記録となる 4 大都市ドームツアー「Vaundy DOME TOUR 2026 “SILENCE”」を開催し全公演完売、約 350,000 人を動員する。同年 4 月にはフジテレビ月 9 ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」主題歌「アイデアが溢れて眠れない」、TV アニメ「黄泉のツガイ」オープニングテーマ「飛ぶ時」、そして yama に楽曲提供したエンディングテーマ「飛ぼうよ」のセルフカバーもリリース。圧倒的な表現の幅を見せつけた。

2026 年 9 月からは、幕張メッセを皮切りにソウル、香港、台北、上海などを巡る初のアジアツアー「Vaundy ASIA ARENA TOUR 2026 "HORO"」、さらに 2027 年 8 月からは全国 13 都市 30 公演「Vaundy JAPAN ARENA TOUR 2027-2028」の開催も決定している。

唯一無二の天性の声、ジャンルに囚われない幅広い楽曲センス、破格の才能を感じさせる多面的な音楽表現でティーンを中心にファンダムを急速に拡大し、令和の音楽シーンを牽引している。